

第6章 嵯峨嵐山地区の課題・問題点

嵯峨嵐山地区の課題・問題点については、これまで計4回の「嵯峨嵐山地区交通バリアフリー移動円滑化基本構想策定連絡会議」(以下「連絡会議」といいます。)において数多くの意見をいただき、全体構想を策定する際に実施した市民意見募集においてもいくつかの意見をいただきました。また、平成17年2月には、連絡会議の下に設置した分科会により現地踏査(以下「現地踏査の分科会」といいます。)を実施し、JR嵯峨嵐山駅、嵯峨野観光鉄道トロッコ嵯峨駅及び京福嵯峨駅前駅や特定経路、準特定経路を主体とした道路などの実態を調査して、詳細な課題・問題点を抽出し、意見交換を行いました。

ここに、これらの概要として、主な課題・問題点及び改善要望などを示します。

なお、現地踏査の概要を巻末の参考資料1に示します。

1 JR嵯峨嵐山駅、トロッコ嵯峨駅及び京福嵯峨駅前駅の課題・問題点

以下の区分に基づいて、JR嵯峨嵐山駅、トロッコ嵯峨駅及び京福嵯峨駅前駅の課題・問題点及び改善要望などの概要を示します。

利用動線：段差解消の状況やエレベーター、エスカレーターの設置状況など

情報案内設備：誘導・警告ブロックの設置状況やホーム上での音声・文字情報案内の状況など

利便設備：車いす対応型トイレや休憩設備(ベンチ、待合室)の設置状況など

個別設備：券売機や改札口の状況など

この区分に基づくJR嵯峨嵐山駅、トロッコ嵯峨駅及び京福嵯峨駅前駅のバリアフリー状況を表8に示します。また駅の課題・問題点マップを図7に示します。

(1) JR嵯峨嵐山駅

今回、駅の現地踏査のルートには駅構内は含まれていませんでしたが、JR嵯峨嵐山駅の主な課題・問題点を示します。

ア 利用動線

島式ホームから改札口への経路にエレベーターが設置されていません。

南側広場における歩車分離や、舗装の凸凹の改善についての要望があります。

イ 情報案内設備

ホームに運行情報案内表示板が設置されていません。

ウ 利便設備

車いす対応型トイレが設置されていません。

(2) トロッコ嵯峨駅

ア 情報案内設備

入口から切符売り場までの視覚障害者誘導用ブロックを、適切に設置してほしいとの要望があります。また、トイレの前の通路の誘導ブロックのすぐそばにベンチが設置されており、人が座ると誘導ブロックに沿って通行できないので改善してほしいとの指摘があります。

イ 利便設備

車いす対応型トイレの出入口や中のスペースが狭く、車いすでは回転しにくいので便座の向きを変えてほしいとの要望があります。また、非常ボタンや水を流すボタンに点字表示を設置してほしいとの要望があります。また、車いす対応型トイレを、オストメイト対応（人工肛門や人工膀胱をつけた人が器具の洗浄などを行える設備を備える）等の機能のある多機能トイレに改善してほしいとの要望があります。

ウ 個別設備

路線図に点字表示や現在地の表示を設置して、もう少し見やすくしてほしいとの要望があります。また、設置位置が高いので改善してほしいとの要望があります。

(3) 京福嵯峨駅前駅

ア 利用動線

ホーム上にバイクや自転車が駐められているので撤去してほしいとの要望があります。

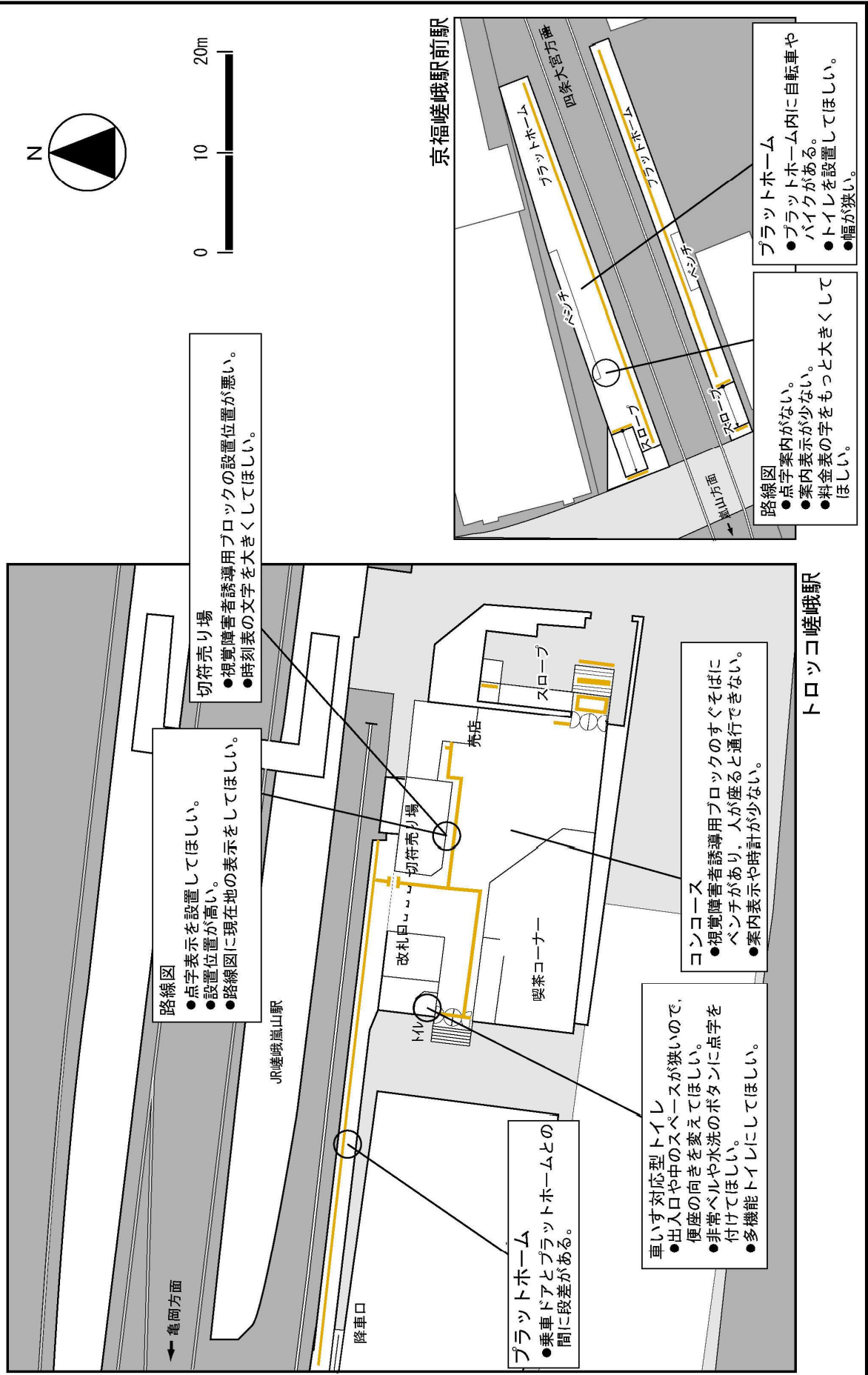
イ 個別設備

路線図に点字表示を設置してほしいとの要望があります。また、路線図の料金表示を大きくしてほしいとの要望があります。

表-8 JR嵯峨嵐山駅、京福嵯峨駅前駅及びトロッコ嵯峨駅のバリアフリー状況

鉄道名	西日本旅客鉄道	京福電鉄	嵯峨野観光鉄道
路線名	嵯峨野線	嵐山本線	嵯峨野観光線
駅名	嵯峨嵐山駅	嵯峨駅前駅	トロッコ嵯峨駅
駅の構造	地上駅	地上駅	地上駅
1日平均乗降客数	9,796人	1,391人	1,800人
最大段差	出入口～改札口(改札外)	0.7m	1.0m
	改札口～プラットホーム(改札内)	-	-
段差解消の状況	出入口～改札口(改札外)	○	○ スロープ有り
	改札口～プラットホーム(改札内)	×	○ 平坦
情報案内設備	誘導警告ブロックの設置状況	○	○ 出入口～券売機～改札口～プラットホームに連続して有り
	ホーム上での運行情報設備	○	○ 有り
	音声案内	×	○ 有り
利便設備	券売機に併設した点字料金表示	○	-
	文字情報	×	×
個別設備	トイシレ	×	○ 車いす対応型トイシレ有り
	休憩設備	◎	◎
個別設備	プラットホーム	○	○ 有り
	券売機	○	-
	改札口	○	○ 幅90cm以上の改札口有り

図-7 トロッコ嵯峨駅・京福嵯峨駅前駅の課題・問題点マップ



2 周辺道路等の課題・問題点

以下に、道路などの課題・問題点及び改善要望などの概要を示します。

道路などの課題・問題点マップを図 - 8 に示します。

(1) 特定経路 及び特定経路 (丸太町通)

両側に2 m以上の歩道が整備されていますが、歩道の窪みがあるので平らにしてほしい、勾配がきつく段差があり横断しにくい、点字ブロックの位置・色が悪い、点字ブロックが破損している、植樹の根上りによる舗装面の凸凹でつまずく、歩道橋部分では歩道が狭い、歩道橋の階段下部分で頭をぶつけそうで危ない、看板や商品が歩道にはみ出して歩いて歩きにくいなどの指摘があります。

(2) 準特定経路 (嵯峨嵐山駅前の道路)

両側に歩道が整備されていますが、歩道幅が狭い、自転車の駐輪や路上駐車が歩きにくい、植樹や電柱等で歩きにくい、グレーチング蓋(金属製の格子目の溝蓋)の目が粗い、横断勾配がきつい、歩車道境界の縁石が高くてつまずくので危ないなどの指摘があります。

(3) 準特定経路 (準特定経路 ~天龍寺)

歩道のない道路で、歩道を整備してほしい、電柱や看板等で歩きにくい、グレーチング蓋の目が粗い、不法駐車が多いなどの指摘があります。

(4) 準特定経路 (準特定経路 ~京都銀行鹿王院支店)

歩道のない道路で、路側線の内側に電柱や看板がありじゃまである、道路と側溝との間に段差がある、グレーチング蓋の目が粗いなどの指摘があります。

(5) その他の道路

踏切前後の道路の勾配が急である、踏切内の道路幅が狭く段差がある、グレーチング蓋が滑りやすいなどの指摘や、水路に蓋を架けてほしいなどの要望があります。

